

# 大型開発ではなく、これまでどおり 市民のくらし第一の市政を貫くべきと主張

3月議会

日本共産党

## 日本共産党と関口市長の約束

日本共産党は、2007年4月に関口ひろし氏と次のような政策協定を結びました。

- ①市民のくらしが脅かされているとき、市民のくらし第一の市政へと前進させます。
- ②市民の子育て支援、文教都市にふさわしく、学校教育条件整備の充実をはかります。
- ③高齢者やしょうがい者を大事にする施策、市民の健康増進のための施策を前進させます。
- ④大型開発のまちづくりを抑え、水と緑を生かした国立らしい「修復型のまちづくり」を進め、国立駅舎の保存と大学通りの景観を守ります。

それに対し関口市長は、「弱者に光を当てる市政を作ります」「大きな公共事業よりたくさんの幸福事業を優先していきます」と市民に公約してきました。今こそ、市長は市民への公約を守るべきです。

今、市民のくらしはこんなに大変!!

日本共産党市議によせられた市民の声

保育所に入れなければ職を失ってしまう。どうしても保育所に入りたくない。  
(20代・母)

正社員から派遣社員にされてしまった。家賃を支払うのが大変。これ以上の税金、公共料金の値上げはやめてほしい。  
(40代・父)

介護保険料や後期高齢者医療の保険料が高すぎる。暖房費や食費を節約してくれている。保険料を引き下げてほしい。  
(70代・女性)

## 市民のくらしを圧迫する方向に踏み込んだ2010(H22)年度予算

### 毎年新たな市民負担増

市は大型開発をすすめる財源づくりとして、「財政健全化方策による収支改善」を示しました。公共料金の値上げと増税を市民に押し付ける計画で、2012年からは新たに5億円以上の負担増となります。(右表)

この「健全化計画」を進めれば、大きな市民負担を求めることとなります。日本共産党は、関口市長に対して、市民のくらしが大変な時、大型開発はやめて、市民のくらしを守る方向に、市の基本姿勢を戻すことを求めてこの予算に反対しました。

### 国立駅周辺に総額153億円もかける

2010年度予算は、都市計画道路3・4・10号線の事業費が2010年度は4千万円も組まれています。

さらに、2011年度1億2千万円、2012年度5億円と南側だけでも42億円。さらに北側を含めると57億円もの事業費となります。

この道路計画を含む国立駅周辺街づくりの事業費は総額で153億円もかける、開発優先に踏み込む予算となっています。

### 国立市では...

- ・市民税、国民健康保険税の滞納者が増え、差し押さえの件数が2006年には40件だったものが2009年には468件にもなっています。
- ・生活保護世帯が2005年から2010年にかけて100世帯以上も増え、計592世帯、759人(4月1日現在)となっています。

### 3月議会で明らかになった国立市の値上げ計画

「財政健全化の方策」による市民負担増	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度	2012(平成24)年度
家庭ごみの有料化による市民負担増	1億円(半額)	2億円(全額)	2億円(全額)
グリーンバスの有料化		350万円	700万円
下水道使用料の値上げ			9千900万円
国民健康保険税の値上げ			9千万円
自転車駐輪場使用料値上げ			4千880万円
都市計画税の税率値上げ			1億2千900万円
合計	1億円	2億円 350万円	5億7千380万円

### 実施計画(H22~H24)国立駅周辺まちづくり事業関連予算

	2010(平成22)年度事業費	2011(平成23)年度事業費	2012(平成24)年度事業費
都市計画道路3・4・10号線(延伸南工区)	4千万円	1億2千万円	5億円
国立駅周辺まちづくり事業(基本設計・実施設計)	1千2百万円	3千万円	4千万円
合計	5千2百万円	1億5千万円	5億4千万円

## 国立駅周辺の大型開発は市の財政破綻とまち壊しにつながる

多くの市民が「国立駅周辺まちづくり」の見直しを求めています



3・4・10号線中止署名を呼びかける市民

- 3・4・10号線の道路ができれば静かな住宅街に通過車両を呼び込むことになり反対です。
- ロータリー機能をなくすことによって国立駅前に一般車が入れないのでは家族などの送迎ができなくなると困ります。
- 市民一人当たり20万円、総額153億円も国立駅周辺だけにお金をかけるのではなく、谷保駅のエレベーター設置などに予算をまわしてほしい。このように多くの市民が「計画」の見直しを求めています。

### 国立駅周辺まちづくり基本計画 ①~⑤



# 家庭ごみ有料化など市民負担増やめて

日本共産党国立市議団

## 福祉・教育の緊急要求を市長に申し入れ



緊急要望書を提出する日本共産党国立市議団  
左から  
高原市議 長内市議 関口市長 小沢市議 吉村市議

日本共産党国立市議団(团长・長内敏之、小沢やす子、高原幸雄、吉村みな議員)は、4月13日、関口博市長に、市民生活を守る緊急要望書を提出しました。

要望書は「市民のくらしが大変厳しいときこそ『弱者の立場に立つ』ことが重要」として、次の4つの市民要望の実現を求めました。

- 1.家庭ごみの有料化など、市民生活に負担増となる増税、値上げを中止すること。
- 2.中学校の通級指導学級を緊急に設置すること。
- 3.保育園の待機児解消のための緊急対策を行うこと。
- 4.都市計画道路3・4・10号線(南側延伸部分)の建設を中止し、「国立駅周辺まちづくり」の抜本的見直しを行うこと。

### 国立市の2010年度予算

#### 自民・公明・生活者ネット・みどりなどが市民負担推進

2010年度国立市の一般会計予算案に対して、**自民党**は「2010年度予算案の最大の目玉は、駅周辺まちづくりであり、莫大な予算を使う」と認めつつ、「南北道路は広域事業として、近隣市とともに東京都に負担を要請すべき」と促進をせまり予算に賛成。**公明党**も「駅周辺まちづくりは一步前進の予算案」と評価し「健全化方策による収支改善策(公共料金などの値上げ)」については先送りせずに実施を促し、予算に賛成しました。**生活者ネット**は、駅周辺まちづくり予算にはいっさい触れず、公共料金の値上げでは「家庭ごみの有料化」をせまり賛成。**みどり**・重松議員も「財政再建(市民負担など)を前倒しにし、着実に進めるよう求める」と賛成し

ました。

**日本共産党**は、「不要不急の大型開発と増税・公共料金の値上げに踏み出す予算となっている」と厳しく指摘しました。市民のくらしを守る本来の方向に戻すよう強く求め、反対しました。

**民主党**も「総額153億円の事業費は、火に油を注ぐもの」と反対。**社民党**も「この計画は経済状況を反映していない」と反対しました。

結果、関口市政を支えてきた与党の大部分が反対し、自民・公明・生活者ネットなどの賛成で、市民の願いとかけはなれた方向への推進を迫られる予算となりました。

#### 2010年(平成22年)度予算に対する各党の態度

(日本共産党)	高原 幸雄	議長
	小沢やす子	反対
	長内 敏之	反対
(民主党)	吉村 三奈	反対
	生方 裕一	反対
	丸井 皇明	反対
(社民党)	藤田 貴裕	反対
(こぶしの木)	上村 和子	反対
(自由民主党新政会)	青木 健	賛成
	石塚 陽一	賛成
	松島 寿延	賛成
	石井 伸之	賛成
(公明党)	斉藤 安由	賛成
	中川喜美代	賛成
	鈴木 律誠	賛成
	小口 俊明	賛成
(生活者ネット)	阿部美知子	賛成
	板谷 紀子	賛成
	小川 宏美	賛成
(明政会)	関 文夫	賛成
	大和 祥郎	賛成
(つむぎの会)	池田智恵子	賛成
(政和会)	井上 健	賛成
(みどりの未来)	重松 朋宏	賛成
結果		可決

### 市民と共に実現した矢川駅エレベーター、小中学校の耐震化など



建設が始まった矢川駅エレベーター

矢川駅のエレベーターは2011年3月に完成します。この要望は近くの病院の患者さんたちや高齢者から出されたものです。日本共産党は議会の内外で実現のために力を尽くしてきました。



耐震化が完了した2小の教室

子どもたちの命の安全と地域の避難所として公立学校の耐震化促進を日本共産党は一貫して提案してきました。2010年度で完了します。



この4月から新しくなった東学童保育所

東学童保育所の建てかえには保護者の意見が取り入れられています。日本共産党も議会で実現を求めてきました。

### 政治をもっと前に！ 日本共産党をのばしてください



こいけ  
**小池あきら**  
参議院議員・党政策委員長  
東京選挙区予定候補



たむら ともこ  
**田村智子**  
比例代表予定候補



たかはら ゆきお  
**高原 幸雄**  
市議会議長  
総務文教委員



おざわ やすこ  
**小沢やす子**  
市議会議員  
建設環境委員



ながい としゆき  
**長内 敏之**  
市議会議員  
総務文教委員



よしむら みな  
**吉村 みな**  
市議会議員  
福祉保険委員



おわり  
**尾張みやこ**  
日本共産党国立市委員会  
教育・福祉相談室長